

おおあさひ支部報

福祉への認識高まる 支部行事にご協力を 役員研修会

市社会福祉協議会大旭支部の役員研修会が、11月28日、宇都宮市の大谷資料館、大谷寺や平和観音、道の駅うつのみやロマンチック村を会場に、32人が参加して行われました。

小野武支部長は「支部の行事として定着し、社会福祉に対する認識が高まっています。3月に開催される、ふれあい食事が年度最後に行事になります。これからも支部の行事にご協力をお願いいたします」とあいさつしました。

壁面にはきで見学しました。壁面には手掘り時代のツルハシの跡が残り、構内の平均温度は8℃前後で戦争中は地下倉庫や軍事工場として、戦後は政府米の貯蔵庫として利用されていきました。

大谷資料館では、地下30m広さは2万平方メートルある、地下採掘場跡でガイド付
 日本最古の石仏がある大谷寺では、寺宝のほか洞穴遺跡から発掘された縄文時代の人骨などを展示した宝物館があり、近くの平和観音は高さ27m、戦後戦没者の供養と、世界平和を祈って彫刻されました。



平和観音に見守られて

食品工場の衛生管理を学ぶ

にじの会研修

10月19日（金）支部女性部（にじの会）の会員を乗せたバスは、目的地の2つの食品工場へ向かいました。

午前9時30分に、笠間市安居にある「不二製油関東工場」に到着し、会社の説明を受け工場にはいりました。ここでは、チョコレートとクリームを製造している工程を見ることができました。完成品は、kgやトン単位で菓子メーカーに大口で出荷されています。

昼食は、「キャトル・セゾン」でとりました。お盆いっぱいには盛られた料理は、野菜も多く栄養のバランスのとれたメニューでした。にじの会では、こういう機会を利用して食事作りの参考にするそうです。

午後は、小美玉市にある「イトウ製菓工場」に到着し、エントランスルームで、映像による会社の説明を受けました。工場では、原料の小麦粉、砂糖、油脂、水を機械に入れ



イトウ製菓工場の前で

て、よく混ぜて生地を作る。次に、生地を伸ばしてビスケットやクッキーの型抜きをし、ベルトコンベヤーに乗せ焼けばできあがりです。

見学した2つの工場ともに、見学者の通路と製造現場はガラスの壁で仕切られ、衛生に配慮されていました。工場見学の後は、敷地内に併設されているアウトレット製品販売所でショッピングを楽しみました。

今回の工場見学では、オートメーション化と徹底した衛生管理下で食品が製造されていることを知り、食品への関心が高まりました。

地区三世代交流

笠間市社会福祉協議会大旭支部では、毎年開催される三世代交流会のうち、友部第二小学校に対し、ボランティア活動として協力し、4地区の交流会に対しては助成を行っています。

昔遊びを楽しむ 友二小ふれあいのつどい

11月4日(日)、友部第二小学校で三世代ふれあいのつどいが開かれました。

午前8時40分から、はじめのつどいが始まり、6年生が司会する中で、行事がスムーズに進行して行きました。

◇はじめのつどい
主催者を代表して、長堀成子校長先生よりのあいさつ。続いて、谷澤慎太郎PTA会長、小野武社協大旭支部長の話と、来賓・協力者・ボランティアの紹介がありました。
司会者より、会場(教室、体育館、学童施設、屋外)と催し物についての、全般的な説明がありました。

校舎の1階では、紙ひこうき・けん玉。2階では、おはじき・折り紙・お手玉・かるた。

まとあて・将棋・魚つり・あやとり・どんぐりごま・交通安全キャンペーン。体育館では、はねつき・輪投げ・ヨーヨー。学童施設では茶道体験。屋外では、竹馬・グラウンドゴルフ・ベーゴマ・めんこ等。数々のゲームや昔あそびの準備が整えられていました。



むずかしい折り方に挑戦

◇ふれあい活動
将棋の教室では、藤井聡太七段の活躍もあつてか、たくさんのお子さんが入り、将棋盤を見つめて真剣に対戦していました。
お手玉では、女性のボランティアの方に教わりながら、懸命に紅白の玉を空中に投げつけるけれども、2つ以上の玉を

空中にとどめることは難しいようでした。

どんぐりゴマの教室では、直径が2・5cm位のドンダグリの穴をあけ、楊枝を差し込み作る工作に取り組んでいました。

児童館では、茶道が行われていて、児童達はお菓子やお茶の運び方、差し出し方、声のかげ方などについて、丁寧な指導をうけていました。

屋外では、めんこ遊びに興じる児童の姿に昔を思い起こさせられました。

◇おわりのつどい
司会者が児童を代表して「今日おそわつた、日本の昔遊びを大切に、後の人達に伝えていきます」とあいさつをし、ボランティアの皆さんに、花のプレゼントをし感謝の気持ちを伝えました。

最後に、長堀校長先生よりボランティアの方々に対してはお礼の言葉を、児童に対しては「日本には、これからますます外国からのお客さんが来ることと思われまます。児童の皆さんは、昔から伝わるいろ

いろな遊びを外国の人々に教えてください。きつと喜ばれることと思います」と呼びかけられ、閉会となりました。

豪華景品！菊花品評会 旭平二区のつどい

11月18日旭崎新農村集落センターをお借りして、旭平二区のふれあいの集いが開催されました。

粕谷靖旭平二区区長のあいさつに続き山口伸樹笠間市長・小野武社協大旭支部長・大垣茂旭平一区区長、高間香旭崎一区区長からあいさつとご祝辞を頂きました。

参加者が100人にもおよび大人はセンター内で、笠間保健センターの落合理恵保健師の「生活習慣病予防講座。死亡原因の6割が生活習慣病であり、週60分の運動と食事に気を付け野菜から食べて、5分待つてから食事をする。糖分は就寝3時間前は避ける。などの貴重な講話とリラックス体操がありました。

子ども達や付き添いの方は、戸外で「輪投げ・パターゴ



リラックス体操：右奥落合保健師

屋食は大人用子ども用2種類に配慮されたカレーライスを頂き、参加者の近況を語り合う様子が見られました。

「菊花展覧会」は藤井敏審委員長から講評を受けた後に、参加者全員の投票でたくさんのお出展数の中から小倉秀男夫妻の作品が最優秀賞に輝きました。

ピング大会の景品は各家庭からの持ち寄り、毎年好評です。

笠間市消防本部友部消防署3人の指導による消火器の使用法と注意点など、実際に扱いながらの訓練でした。永井悟副中隊長からの講話は、防災の言葉の意味や「自助・共助・公助」の説明が参考になりました。

**地域密着の防災体験
旭台団地が交流会**

秋晴れの10月21日(日)、旭台団地の三世代交流会が、同会館に子ども会、保護者、高齢者、地区役員など150人が参加して開かれました。

青木清四区長が開会を宣言、原省三・三区区長(実行委員長)が「今年も、たくさんの参加を頂き感謝いたしました。防災体験講習やスポーツコーナー、バルーンアート、お楽しみコーナー、ビンゴゲームなど、たくさんの商品を用意してありますので、一日を楽しくてください」とあいさつしました。



けん玉、じょうずだね

来賓として、市社協大旭支部の川澄真二郎副支部長と笠間市危機管理室の近藤智弘係長がアドバイザーとして参加、防災チーム(原区長以下9人)が防災機材の実技訓練と給水訓練を担当。ライフライン停止時の、電気と水の確保訓練が行われました。

また、ホールインワンゲームでは子供たちがたくさんのお品をゲットしたり、けん玉、水ヨーヨー、綿あめ、輪投げ、バルーンアートなど楽しい一日を過ごしました。

ビンゴゲームでは全員が参加、もれなく賞品が当たるなど、地域に密着した行事でした。

散会後は、各自がゴミを持ち帰るなど、有意義な一日を過ごしました。

**地域が一体となって
主役は子どもたち**
旭台

立冬を過ぎたとは思えない暖かきの11月11日、旭台地区(大高信昭区長)の旭台三世代(大高信昭区長)の旭台公民館を会場に、旭台地区役員、子ども



子どもが主役の交流会

会、祖父母たちにお父さん、お母さん、小野武社協大旭支部長、村上典男県議会議員など150人以上の住民が参加して交流を深めました。

大高区長は「今日は、旭台地区皆さんが、協力し合って地域のふれあいと人と人のふれあいを大切に、今日一日楽しく過ごしてください」とあいさつしてスタートしました。

大根やキャベツ、サツマイモ、ミカン、リンゴ、バナナなども格安で販売、売り手は子どもたち、元気に「いらっしゃいませ」の掛け声に商品は売れて行く。お母さんたちは自慢のトン汁、お父さんたちは

お餅つきと役割を分担、あんな餅、きな粉餅は子どもたちのおなかのなかへ。またおもいおもいに遊びを見つけては、楽しい一日を過ごしました。

**地区の総力を集めて
旭崎一区秋祭り**

抜けるような青空のもと、11月11日(日)旭崎新農村集落センターで、旭崎一区主催「三世代交流秋祭り」が開催され、会場には約100人のおおぜいの皆さんが参加をしました。運動場には、紙飛行機とばし(飛行距離)や、グラウンドゴルフのホールインワン(練習1球・2球勝負)と豆つかみ(制限時間30秒・2回の合計数)が競われて、歓声があがっていました。

一方ホール前では、子どもたちが餅つきを体験。焼きそばコーナーからは、良い匂いがたただよっていました。

またご婦人方の手で、5種類の餅料理と焼きそばなどが用意されていました。昼どきは、センターのホー

ルに参加者が集うなかで、高間香区長の主催者あいさつと、来賓の小野武社協大旭支部長が祝辞を述べました。食事タイムのあとには各種競技の表彰式と、子ども会がリードするビンゴゲームでは、会場が湧きました。新しい催しとして、元気な子ども会から「フレーフレー、じいちゃん・ばあちゃん」と。これに答えて高間区長から「フレーフレー子ども会!」とエールを交換するなかでの、散会となりました。



エールの交換

祝 敬老会

児童の演奏に 笑顔と拍手

友部第二小学校区

10月6日(土)、友部第二小学校区敬老祝賀会が、友部第二小学校体育館で敬老対象者110人の出席のもと開催されました。

式典では、高橋済実行委員の開式の言葉で始まり、主催者を代表して青木清実行委員長があいさつをされ、来賓紹介では、山口伸樹笠間市長、常井洋治・村上典男県議会議員、石松としお市議会議員の紹介がありました。

長寿者紹介では、100才の方(大和田たま江さん、金箱廣美さん)と、米寿者(13人)の方々のお名前が紹介されました。

アトラクションの最初は、友部第二小学校音楽隊による演奏で、司会は上野香音さん(6年)と竹添葵和さん(6年)が担当し、オーブニングのテーマ曲(水戸黄門)が演奏

される中、音楽隊長の千葉梨花さん(6年)が「今日は敬老会にお招きいただきありがとうございます。私たちが音楽隊は33人で活動しています。今日まで敬老会のためたくさん練習をしてきました。今日はどうぞ楽しんでいってください」とあいさつをし、早速「ドラゴン・クエスト」「上を向いて歩こう」「津軽海峡冬景色」などの演奏に入りました。

先生方のピアノ連弾とダンスが披露され、児童音楽隊との共演で参加者が一体となり、歌声と手拍子が会場に響きわたりました。

アトラクションの最後は「琴伝流ふれあい琴の会」代表の、外岡紀代子さんの解説



友二小音楽隊の演奏を楽しむ

に従って「ふるさと」「北国の春」「夫婦春秋」等々、全部で8曲が演奏され、歯切れの良い大正琴の音色に聞き入りました。

最後に、大垣茂実行委員の閉式の言葉で閉会しました。

長寿

笠間一を目指す

旭崎一区

9月9日旭崎新農村集落センターで、平成30年度旭崎一区敬老会が開催されました。晴天にも恵まれ参加者は31人に。開会前、お抹茶が1人1人に振る舞われました。

高間香区長が「長寿笠間一を目指しましょう」と挨拶、新生会小野武会長から「年間行事と敬老会登録者数が61人に、平成21年から1.8倍増となった」と説明。

山口伸樹笠間市長が多忙な中に参加され「健康の秘訣は食事である。どうぞお元気で。」など祝辞がありました。旭崎子ども会の代表で、4人の子ども達が、参加者全員に手作りの「表彰状とメダル」

がプレゼントされました。

◇楽しいアトラクション!

①チンドン夢乃家さん

チンドン演奏と南京玉すだれの妙技を堪能。笑いに包まれました。

②アロハ・マイの皆さん

歌詞を片手に「月の沙漠を♪」と合唱。美女3人によるフラダンスも加わり、夢の世界に浸りました。

その後、手作りの祝い膳会食と懇談。お腹いっぱい、記念品も受け取り散会しました。



夢乃家さんとの笑いにつつまれて

読み聞かせに 心ほのぼの

旭平二区

10月28日、旭平2区の敬老

祝賀会が、旭崎新農集落センターで開催されました。

山田保治副区長の司会で、

粕谷靖区長の主催者あいさつ、14人のお客さまが紹介されました。

続くお祝の言葉では、山口伸樹笠間市長のメッセージが代表して披露されました。

記念撮影に続くお楽しみみの時間では、笠間市友部図書館ボランティア「すみれのWA代表・嘉藤容子(かとうようこ)さん」による読み聞かせが、演じられました。

絵本と紙芝居で「七度(しちど)きつね・三年峠(さんねんとおげ)・パパお月さま取って」が親しみやすい声と親切な話ぶりに、読み手と聴き手が一体になり、会場内がほのぼのとなりました。

そののちはビンゴゲームを楽しみ、おいしい弁当で会食をして散会になりました。



ほのぼのとした雰囲気

皆で敬老者を祝福

若狭山団地祭

10月28日(日)、爽やかな秋晴れのもと、若狭山団地公民館で団地祭と敬老祝賀会が開かれました。

午前10時に、公民館前に設置されたお神輿の前で、団地住民が集合し、これから1年間の安全と健康を祈願するための儀式を行いました。全員に御神酒がふるまわれ、心身が清められたところで、開会式となりました。

開会式で、今野豊雄区長より「今日は、晴天に恵まれました。敬老の皆さん方を祝福し、団地の皆さんの健康を



皆さんで、安全と健康を祈願

願っています。今日一日を楽しんでください」とあいさつがありました。

午前中は、屋外で班対抗の輪投げ・パターゴルフ・玉入れの大会が行われ、それぞれ工夫が凝らされたゲームだったので、ため息や歓喜の入り混じった熱戦となりました。

午後からは、屋内で敬老祝賀会が開かれ、区長より祝辞伝達の後、敬老対象者の紹介と記念品の贈呈がありました。

懇親会では、テーブルに並べられたご馳走の品々を食べながら会話も弾み、楽しい時間を過ごしました。

最後に「市の交通安全母の会」と「地元の高齢者クラブ」から、活動報告があり、会場からは「ご苦勞様でした」の拍手がおくられ閉会となりました。

思い出話に花が

旭台

10月7日、旭台公民館で、旭台地区の敬老祝賀会が開催され、最高齢者の木村キイ(92歳)さんら15人が出席さ

れました。

式典で、大高信昭区長が「今年も皆さんのお姿を見るのが出来てうれしく思います。年々高齢者が多くなってきましたが、健康には十分注意され、来年もお会いできるよう楽しみにしています」とあいさつ。

寺門常康民生委員が参加者一人一人を紹介し、楽しい祝賀会が始まりました。



懐かしい思い出話

祝賀会では、思い思いに話が進み旭台地区が出来たころや今日までの歴史など、興味深い話や結婚したころの話など、懐かしい思い出話につつまれました。参加した皆さんは、元気な方が多く、東京

オリンピックはぜひ見たいと

意欲を示しながら、また、この後の行事予定の三世代交流会も参加したいと、地域の行事に積極的でした。

カラオケでは、皆さん演歌が大人気で、時のたつのも忘れて、心行くまで楽しみながら、来年の再開を約束して閉会となりました。

地域の発展に尽力

旭台団地

コスモスが咲き乱れる旭台団地会館で9月17日、平成30年度旭台団地敬老祝賀会が開かれました。

午前10時から式典が始まり、吉田正次二区区长が司会を担当、青木清四区区长が開会を宣言、原省三・三区区长(実行委員長)が代表して「敬老の日を迎えられた皆様には、これまで地域の発展にご尽力され、ご指導を頂いてきました。きょう一日楽しんでください」とあいさつされ、

来賓祝辞米寿記念品の贈呈などが行われました。健康講座として、土井永史



土井先生の健康講座

先生(元県立こころの医療センター)が、睡眠について話され、人生の1/3の時間を占める睡眠は、決して無駄な時間ではない。それは生命維持、成長、心身の健康に不可欠の時間である。また、日常生活の中に、運動を取り入れましょうと、質の良い睡眠が欠かせないことを、説明されました。

また、ハーモニイセせらぎグループによる童謡や抒情歌が演奏されると、懐かしそうに聞き入っていました。参加者には福引抽選会も行われ、たくさんの記念品をもらいながら、野田達也一区区長が閉会の言葉を述べ、お開きになりました。

好事例や課題が提起されて

高齢者クラブ代表者懇談会

10月13日(土) 旭崎新農村集落センターで社協大旭支部主催「高齢者クラブ代表者懇談会」が開催され、8地区の代表者の方々が参加しました。この懇談会は毎年この時期に開催され

- 一、活動の現況と問題点
- 二、支部主催グラウンドゴルフ大会の実施について
- 三、高齢者クラブ助成金配布
- 四、その他協議事項

をテーマとして、協議・検討がなされています。

会議は小野武社協大旭支部長の挨拶で、

- テーマの検討依頼

● 各種競技(グラウンドゴルフ、クロッケー、ペタンク、輪投げ)の、県大会などでの成績発表

等について、報告されました。また新たなクラブ結成に向けて、取り組みを続けることが表明されました。

続く「活動の現況と問題点」では、各会長から

- ・ スポーツ活動などを通じた会員相互の交流状況
- ・ 各種奉仕活動の状況



挨拶する小野支部長:正面

- ・ 会員の募集と、行事への参加の呼びかけ
- ・ 後継者の育成

など、運営上の好事例・課題が提起され有意義な話し合いがなされました。

また大旭支部主催グラウンドゴルフ大会は「ときわ会と三友会」が、今回の運営にあたることになりました。

◎クラブ代表者名(敬称略)

- | | | |
|---------|----|----|
| 矢野下寿会 | 荻津 | 正男 |
| 若狭山会 | 鈴木 | 勝義 |
| ときわ会 | 菅原 | 毅 |
| 三友会 | 大森 | 辰夫 |
| 旭崎新生会 | 小野 | 武 |
| 旭台睦会 | 園部 | 勝 |
| ふれあいクラブ | 青木 | 清 |
| 旭平ひので会 | 小倉 | 秀男 |

僅差の得点を競う

グラウンドゴルフ大会

11月17日(日)友部第二小学校で、「笠間市社協大旭支部主催第16回グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

大会は本年担当の「ときわ会と、三友会」の運営により高齢者クラブ(8チーム)から85人の選手と、来賓の山口伸樹笠間市長・社協大旭支部関係者役員ならびに女性部・関操看護師さんの総勢100人の方々が参加しました。

開会式は大森辰夫さん(三友会々々長)の司会により、主催者の小野武支部長が支部事業へのお礼と会員相互の交流と健康増進を、山口市長から大会の成功と健康維持の推進にと、感謝と激励のあいさつ。式に続き、巨理武審判長(ときわ会)が競技上の注意

のち、試合が行われました。試合結果は審判員により厳正な集計が行われ、首位と10位の差が4点の僅差でした。

また入賞者を除くホールインワンが10人と、参加者のレベルの高さが感じられました。閉会式で成績発表と表彰式が行われ、上位10位迄の入

賞者(次に記載)に地産品の新米と、ホールインワン達成者に賞品が贈られました。

- 優勝 佐藤トミ子氏
- 準優勝 平倉 孝裕氏
- 第3位 宇田恵美子氏
- 第4位 栗田せつ子氏
- 第5位 島内 正彦氏
- 第6位 小林 安次氏
- 第7位 今野 豊雄氏
- 第8位 菅原 毅氏
- 第9位 早乙女 稔氏
- 第10位 馬場 信一氏

大会後には、社協大旭支部女性部の協力によるカレーライスをいただいたのちに、散会しました。



表彰式の一コマ

◆区長研修会

友部第二小学校区長会(青木清会長)が、茨城県立こころの医療センターで11月5日(月)研修会を開催しました。

大森理事務局次長と関係職員による事業概況説明ののち院内視察を行い、同センターへの理解を深めることができました。

◆介護者とのふれあい

当大旭支部は、民生委員の協力で「在宅介護者とのふれあい事業」を開催し、「在宅介護をされている皆様へ、感謝を込めて粗品を送らせていただきます」とのおたよりを添えて、日用品をお届けしました。皆様から「大変便利なタオルです。心配りに感謝・・・」などの声が、たくさん寄せられました。

あとがき

今号は「三世代交流会・敬老祝賀会・高齢者クラブ」の記事を、多く掲載できました。関係者の皆様方には取材へのご協力いただきました。大変ありがとうございました。

大旭支部広報委員会一同